

TOSS授業ライセンス-C表審査集計表

実施年月日→	実施会場→					
審査員	審査員名	段位	審査員名	段位	審査員名	段位

受検者氏名→															
現級→															
審査員															
				合計↓			合計↓			合計↓			合計↓		
1	<b>授業の始まり（1分程度）</b>	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 説明を省き、作業指示で授業を始めている。	5													
	② 1分以内に指導案のキーワードに触れている。	5													
	③ 1分以内に会場全体を授業に巻き込んでいる。	5													
	④ その他	5													
2	<b>子どもへの目線</b>	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 子役全員と目を合わせている。	3													
	② 個々の進捗状況を確認し把握している。	3													
	③ 一人ひとりのノート等に目を止めている。	2													
	④ その他	2													
3	<b>声の明るさ、さわやかさ</b>	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 明るく爽やかな声である。	3													
	② 会場のどこからでも聞き取りやすい声である。	3													
	③ 声の大小、緩急、強弱を使い分けている。	2													
	④ その他	2													
4	<b>子どもへの対応、応答</b>	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 終始適切な対応をしている。	3													
	② 子役の反応を十分に察めている。	3													
	③ 発言したそうな子役を把握し指名している。	2													
	④ その他	2													
5	<b>指示発問の明確さ</b>	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 簡潔かつ明かな指示を出している。	3													
	② 単元を貫く発問や授業の核心に迫る発問を扱っている。	3													
	③ 一文が短く、無駄な言葉を省いている。	2													
	④ その他	2													
6	<b>授業の流れ、リズム</b>	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 心地よいリズムを維持している。	5													
	② パーツとパーツの接続がスムーズである。	5													
	③ 授業の流れに無駄がない。	5													
	④ その他	5													
7	<b>単元としての授業の組立の明確さ</b>	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 指導案に明確な単元構造が記載されている。	10													
	② 授業で単元全体が表現されており、単元構造と授業内容とが概ね6割以上繋がっている。	5													
	③ その他	5													
<b>合計</b>			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>結果</b>			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

C表認定基準  
 95点～100点...(7級格)  
 90点～94点...(8級格)  
 85点～89点...(9級格)  
 80点～84点...(10級格)  
 75点～79点...11級  
 70点～74点...12級  
 65点～69点...13級  
 60点～64点...14級  
 55点～59点...15級  
 50点～54点...16級  
 45点～49点...17級  
 40点～44点...18級  
 35点～39点...19級  
 30点～34点...20級

※(〇級格)というのは、正式認定ではないが、そのくらいあるということ。  
 ※認定されてから1年しても次の受験をしない場合は、「〇級格」となる。  
 ※認定されてから2年しても次の受験をしない場合は、「前〇級」となる。

<中級者A TOSS、向山型全部の授業とそのマスター>  
 11級—TOSS、向山型授業のほぼ全部を実践できる技能  
 12級—10(教科・領域)で向山型、TOSS型授業のできる技能  
 13級—E表を判定して、ほとんどすべてに代案が示せる技能  
 14級—単書が出せる技能  
 15級—校内で、指導案について、しばしば相談される技能  
 16級—5(教科・領域)で向山型、TOSS型授業の講演ができる技能  
 17級—E表を檢定して半分に代案が示せる技能  
 18級—舞台での発表、模擬授業が20回程度の技能  
 19級—自らの主張を研究授業で示せる技能  
 20級—学級崩壊したクラスを立て直せる技能